

基本情報



ご氏名：
高嶋 淳

地域おこし協力隊としての

①活動自治体名：
和歌山県 那智勝浦町

②活動時期：
H28.10～R1.9

③活動分野（ミッション）：
鳥獣害対策

自己紹介

大阪市出身。
約10年間で100カ国以上の生活・貧困・紛争などに触れる。
帰国後は徒歩で各地を巡り過疎・少子高齢化・鳥獣害などを知る。
熊本地震でボランティア活動に出向く。
ポジティブ思考だが浮かれないことを常に意識している。

協力隊に応募したきっかけ

日本で地に足をつけた生活を考えていたところ鳥獣害対策の募集に目が留まり農業と漁業の経験はあったが自分で食肉を確保できて自給自足した生活に近づけるかもしれないと考えた。
少しだけ狩猟に触れた経験もあったので鳥獣害で困っている地域から必要とされる活動がしたいと考えた。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人or職場)) info@w-tok.net
(電話番号(個人or職場))

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
わかやま地域おこし協力隊ネットワーク <https://w-tok.net/>

地域おこし協力隊としての活動内容

●鳥獣害対策

自律を忘れず地域との関係や信頼を構築して時間外や休日に関係なく現場に出向く。
狩猟免許と猟銃所持許可を取得する。
活動しやすい環境と自分ができることが広がり更に進んだ動きができるようになる。
和歌山県の鳥獣害対策アドバイザー認定。



●ICTを利用した遠隔操作での捕獲罠を自作

少数ずつ捕獲するのではなく一網打尽できる方法を模索しシステムを安価で制作する。
その効果が発揮されてサル群れを撲滅し約20年ぶりにサル被害を無くすことに成功する。
捕獲だけでなく他の使い方も考えて特許取得に向けた動きも検討している。



卒業後の活動内容

●集落支援員

引き続き町の鳥獣害対策を対処療法的でなく根本的解決に向けた活動で成果をあげ続けて鳥獣害を減少傾向へと導く。
技術向上や新しいことへの挑戦も忘れない。
消防団員として地域を守る活動も行ない常に必要とされる存在を目指している。



●わかやま地域おこし協力隊ネットワーク

協力隊時代に繋がっていた他市町村の協力隊と共に一般社団法人を立ち上げ活動する。
メンバーそれぞれの力を合わせて時には補い合いながら和歌山県をサポートしている。
活動域を自分が住む町だけでなく県全域に広げて考えながら行動する。

